

当病院は「閉塞性動脈硬化症患者における大腿膝窩動脈領域のステント内再狭窄病変に対する血管内治療の有効性に関する多施設・後ろ向き研究」に参加しています。

【研究の意義・目的】

大腿膝窩動脈病変を合併した閉塞性動脈硬化症に対する血行再建術としてナイチノールステントを併用した血管内治療は、バルーン単独での治療と比較して良好な治療成績であると報告されています。しかし長期で観察すると約 20-40%前後の方がステント内再狭窄を起こしており、この領域に対する最適な治療方法に関しては未だ一定の見解がありません。そこで今回の研究は、大腿膝窩動脈領域のステント内再狭窄後に血管内治療を行った閉塞性動脈硬化症患者さんを対象に、後ろ向きにデータ収集し治療成績を評価することを計画しました。

【研究の対象・期間・内容】

小倉記念病院において 2010 年 1 月から 2014 年 12 月の間に、大腿膝窩動脈領域のステント内再狭窄後に血管内治療を行った閉塞性動脈硬化症患者さんを対象としています。

ご提供いただく情報は、血管内治療入院時の年齢、性別、体重、既往歴、血管内治療時および治療後 1 年毎の情報等です。通常の診療の範囲内で得られた情報を研究対象としますので、患者さんに日常診療以外の身体的及び経済的負担が生じることはありません。

なお、この研究の責任者は小倉記念病院 循環器内科 曽我芳光です。

【個人情報の管理について】

個人情報漏えいを防ぐため、お名前、住所などの個人を特定する情報は削除した上で、厳重に管理を行い、第三者が個人情報を閲覧するはありません。また、本研究の結果の公表（学会や論文等）の際にも個人が特定できる情報は一切含まれません。この研究に関わる記録・資料は研究終了後5年間保存した後、適切に破棄いたします。

【利益相反について】

この研究は特定の研究者や企業の利益の為にを行うものではありません。また、この研究により患者さんの利益（効果や安全性など）が損なわれることもありません。

【連絡・問い合わせ先】

この研究に関する相談やお問い合わせ（研究資料の入手方法を含む。）、またはご自身の診療情報につき開示または訂正のご希望がある場合は、下記連絡先までご連絡ください。なお、この研究の対象者となることを希望されない場合は、お申し出ください。その場合でも診療上の不利益が生じることはありません。

小倉記念病院 循環器内科 担当者 鱸居 祐輔
〒802-8555 北九州市小倉北区浅野三丁目2番1号
電話 093-511-2000（代）